肺がんドックのご案内

より早期の肺がん発見のために

肺がんドック

来院からお帰りまで60分

問診　⇒　マルチスライスCT　⇒　血液検査腫瘍マーカー　⇒　診察

肺　が　ん	
がん死亡	第１位

日本人のがん死亡原因の男性第１位、女性第２位は肺がんです。肺がんはある程度進行しないと咳、痰などの症状がないため、気づいてからでは手遅れ、または治療が困難というケースも少なくありません。

当院の肺がんドックは、一般的な胸部レントゲン検査では見つかりにくいとされる病気や病変を、マルチスライスCT検査（80列）で早期に発見することが可能です。

また、肺がんだけでなく、COPDをはじめとする胸部の病気を早期に発見することも目的としています。

80列マルチスライスCT装置

こんな方におすすめです

- ●喫煙指数600以上の方
- ●同居者に喫煙者がいる方
- ●ご家族、ご親戚にがんになった人がいる方
- ●咳や痰が出やすい方
- ●仕事で煙や埃を吸うことがある方

【喫煙指数とは？】

一日に吸うタバコの本数×年数で計算される

タバコとCOPDの関連を表す数字です。

指数が高いとCOPDだけでなく、咽頭がんや

肺がんの危険性も高くなるといわれています。

ドック内容

問診

マルチスライスCT

血液検査腫瘍マーカー

（CEA、シフラ、ProGRP）

診察

22，０００円

（税込み）

※妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、CT検査を受けることが出来ませんので、ご注意ください。

（お問い合わせ）

伊賀市立上野総合市民病院

伊賀市健診センター

TEL　０５９５−２４−１１８６

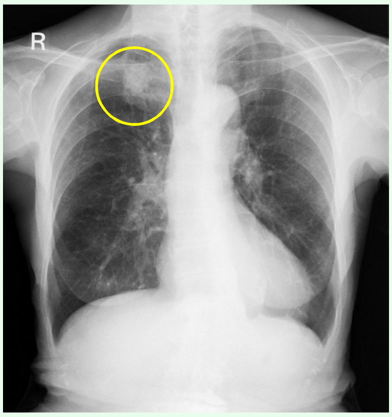
FAX　０５９５−２４−１１２３

〒518-823　三重県伊賀市四十九町831

マルチスライスCT

ＣＴ検査の技術進歩で、より微細な病変まで鮮明に写し出すことが可能になりました。胸部レントゲン検査ではわかりにくい心臓の陰になってしまう部分や、背中の骨に近い部分などの診断に特に優れています。
肺がんドックでは、造影剤を使用することはなく事前の処置も必要ありません
また、低線量なので安心して受けていただけます。

CT画像



レントゲン画像

腫瘍マーカー検査（血液）

腫瘍マーカーとは、がん細胞の目印（マーカー）になる物質の総称です。身体のどこかにがんができると、血液中にマーカー（CEA・シフラ・ProGRP）となる物質が正常値を超えて増えてくるので、これを調べることにより、がん細胞がどんな物質か、どの部分にできたか、再発の可能性はどうかといった診断の助けになります。ただし、がんに関係なく増えることもあるので、これだけで診断することはありません。

肺がんドックで見つかる主な病気

肺がん	肺がんには肺の入口付近に発生する「中心型肺がん」と肺の奥の方に発生する「末梢型肺がん」があります。喫煙者に多い中心型肺がんは、比較的早い時期から咳・痰・血痰などの症状が出やすいのが特徴ですが、肺がんの約７割を占める末梢型肺がんは、早期にはほとんど症状がありません。 この末梢型肺がんの早期発見にはCT検査が有効です。
悪性胸膜中皮腫	悪性胸膜中皮腫は、胸膜の表面を覆っている中皮にがん細胞が形成される病気です。そのほとんどがアスベストの吸引により発生します。 潜伏期間が平均40年と長く、主な症状は胸痛・息切れ・咳などです。
COPD	COPDとは、肺気腫や慢性気管支炎など、長期にわたり気道が閉塞状態になる病気の総称です。 空気の出し入れがうまくいかなくなるので、通常の呼吸ができなくなり、息切れが起こります。 主な原因は喫煙です。
肺結核	肺結核は、空気中から吸い込んだ結核菌が肺で繁殖することによって起こります。 主な症状は咳・痰（血痰）微熱・寝汗・倦怠感・食欲不振などで風邪の症状と似ていますが、 2週間以上続く場合は注意が必要です。

※肺がんドックでは、造影剤を使用することはありません。また、低線量で事前の処置がなく、身体に負担の少ない、やさしい検査です。
※妊娠中の方、妊娠の可能性のある方は、CT検査を受けることが出来ませんので、ご注意ください。